

## 明石市立市民病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究に協力しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	京都府立医科大学附属病院関連施設における急性冠症候群の実態調査
当院の研究責任者	塚本 正樹（循環器内科部長）
本研究の目的	<p>急性心筋梗塞の発生率は人口 10 万人あたり 50 人程度とされています。急性心筋梗塞の院内死亡率はカテーテル治療の発展に伴い、20 年前と比し低下傾向にありますが、高齢化を背景にここ数年は改善に乏しく、院内死亡率は 7～10%と依然高く推移しています。</p> <p>また、急性心筋梗塞は心肺停止の要因になりうる疾患であり、心肺停止を呈した場合の予後は不良です。</p> <p>急性心筋梗塞や心肺停止症例の実態を正確に把握できる資料は存在していませんでしたが、2000 年より京都府立医科大学循環器内科と京都府立医科大学附属病院関連施設による京都心筋梗塞研究会が組織され、疫学調査と治療成績を検討し、多くの報告を行ってまいりました。</p> <p>しかしながら、今後高齢化を背景に急性心筋梗塞患者が増えてくることが予想されており、さらに急性心筋梗塞の予後を改善する取り組みを行う必要があります。</p> <p>また、20 年前と比較し患者さんの高齢化や食生活の変化、また急性心筋梗塞に対する治療方法の変化もあり、現行の治療に即した新たな内容で研究を行う必要があります。</p> <p>急性心筋梗塞を含む急性冠症候群の新たな観察研究を行うことは、現状の治療や救急医療体制の課題を明らかにし、急性心筋梗塞や心肺停止で来院または搬送された患者さんの院内死亡率の低下や、長期予後の改善に寄与できると考えております。</p> <p>そこで、本研究において京都府立医科大学附属病院と関</p>

	<p>連病院（当院を含む）にて症例を可能な限り登録し、以下の方法で研究を行うことにいたしました。</p>
研究方法	<p><b>【対象となる方について】</b>  2020年1月1日以降、当院に急性冠症候群にて来院又は搬送された方</p> <p><b>【研究期間】</b>  医学倫理審査委員会（京都府立医科大学）承認後から永年</p> <p><b>【方法】</b>  診療録（カルテ）より以下の情報を取得し、データベースへ入力する。</p> <p><b>【研究に用いる情報】</b>  年齢・生年月日・性別、既往歴、病歴、心肺停止状況（心肺停止の症例のみ）、検査値、血管造影所見、治療内容、死亡原因、死亡以外のイベント（心筋梗塞の再発、脳卒中、出血性合併症、致死性不整脈など）の発生状況など</p>
個人情報の取り扱い	<p><b>【個人情報の取り扱いについて】</b>  氏名などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、研究機関（京都府立医科大学）のデータベースに入力します。  また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。  なお、この研究で得られた情報は研究代表者（京都府立医科大学 循環器内科学 教授 的場聖明）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <p><b>【情報の保存および二次利用について】</b>  カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学循環器内科において教授 的場聖明の下、原則永年保存させていただきます。</p>

	保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な情報として永年保管し、新たな研究を行う際の貴重な情報として利用させていただきたいと思います。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会（京都府立医科大学）で審査し承認を得ます。
お問い合わせ先	電話：078-912-2323（代表） 担当者：塚本 正樹（循環器内科部長）
備考	<b>【研究組織】</b> 研究代表者：京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科学 教授 的場 聖明